

プラスチックゴミはどこからきている？

図1

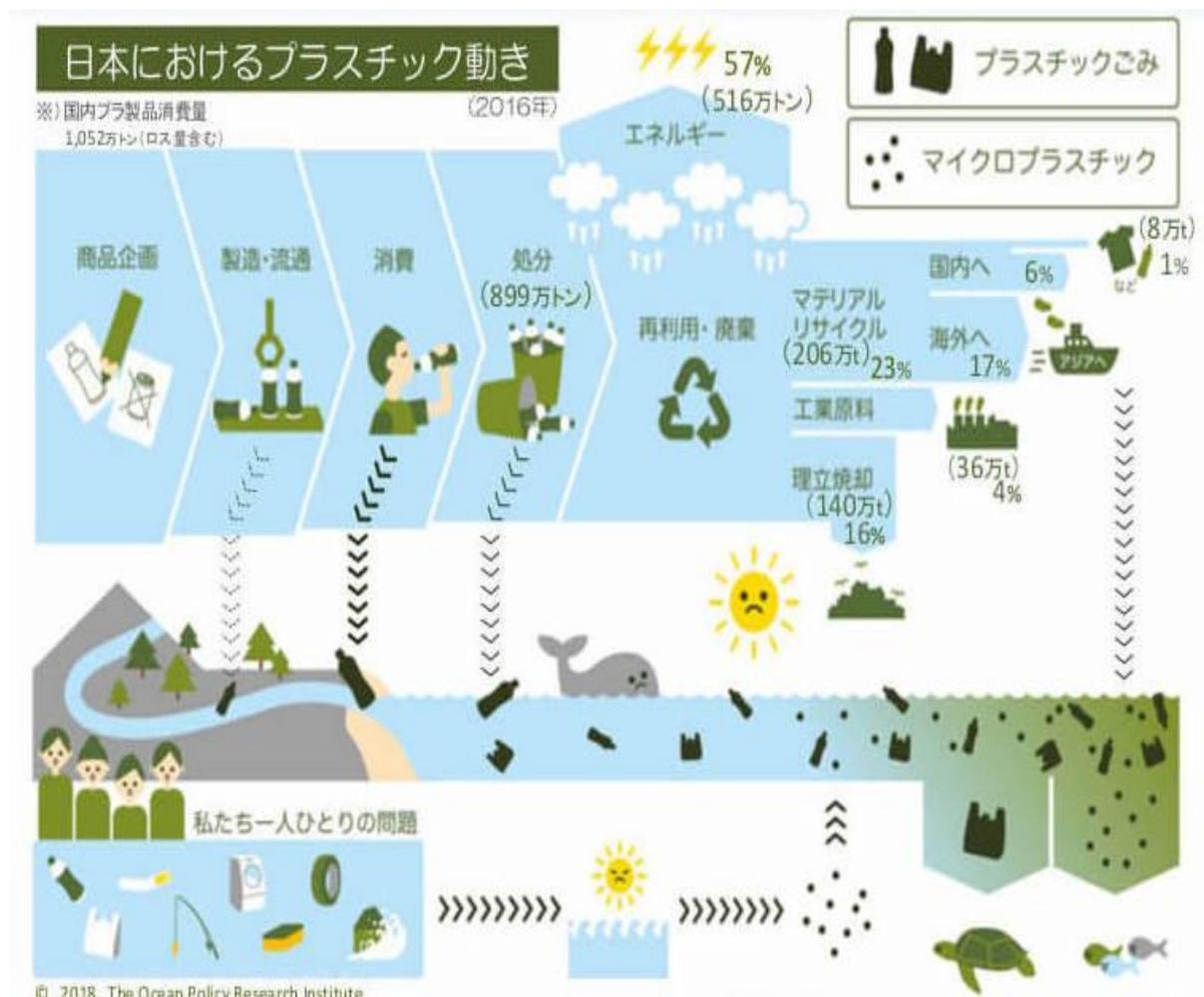


海洋ゴミの 8 割は町から来ている

マイクロプラスチック発生メカニズム

図 2

そもそも海洋ごみはどのようにして発生するのか、そのメカニズムを知らない人も多い。釣り糸や漁具は別として、一見海洋ごみとは関係ないように感じられる街のごみも、実は海へ流れ出ている。投げ捨てなどにより街に捨てられたごみは雨とともに排水溝へと流れ、やがて川をつたい海へと流れ出るのだ。そのようにして街から流れたものが、海洋ごみの 8 割を占めると言われている。



海洋ごみとは関係ないように感じられる街のごみも海へ流出。

この現状を受けて、世界は使い捨てプラスチックの使用廃止に向けて動いている。例えばフランスでは、使い捨てプラスチック製の皿やコップの使用を禁止する法律を世界で初めて制定した。2020年1月から本格的に施行される予定だ。また、アメリカのコーヒーチェーン大手スターバックスが、世界に2万8,000カ所ある全店舗で利用されている推計10億本のプラスチック製ストローの使用を、2020年までに全廃すると発表したことも記憶に新しい。
(日本財団資料)

マイクロプラスチックは、どのくらい海に残るのか？

図3



[Creative Commons Attribution-Share Alike 4.0 International](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/)